



地域・保護者と連携した、ふるさと・キャリア教育の実践

～閉校に向けて、学校の記憶を地域に残そう Part I～

大館市立雪沢小学校 教諭 糸屋 幸

1 研究の概要

本校は、今年度創立60周年を迎えたが、全校児童は22名、来年度末での閉校が決まっている。隣には、昨年閉園した保育園があるが、閉じてしまった保育園を見るにつけ、「子どもの声がどんどん聞こえなくなってしまう。」という声が聞かれる。閉校を前に、「地域の人たち、保護者の方々の心に、学校の記憶を焼き付けてもらいたい」という思いでいっぱいである。

そこで、取組の柱を「ふるさと・キャリア教育と生きてはたらく言葉の力の育成」とし、「児童一人一人の持ち味を生かす」という新たな視点も加え、全学年を通した多面的な取組（生活科及び総合的な学習の時間、クラブ活動等）をしていくことにした。

2 実感

(1) 全職員で、キャリア教育についての共通理解を図る

年度当初に、研修テーマ「キャリア教育推進のために」と題した、県総合教育センターの学校支援講座を全職員で受講した。そこでは、長門里香指導主事から、これまでのキャリア教育とあきた型キャリア教育（持ち味を大切に、自ら未来をひらこうとする高い志を育てる）の特徴について、分かりやすく指導していただいた。

(2) 各学年の取組

① スタートは、全校夢カード（かなえよう！！マイドリーム）

- ・キャリアパスポートの活用
- ・全校で取り組む「輝け！雪沢っ子プロジェクト」
雪沢のよさを見直し、雪沢小の創立60周年を記念したプロジェクトを考えて実現する。雪沢フォーラムでの全校の話し合い、プロジェクトの企画、役割分担、実現。



② 1・2年生生活科農園活動

- ・学校農園を活用して、様々な野菜を栽培した。
- ・自分たちで栽培した野菜を収穫し食べることで、収穫の喜びを味わうとともに、草取りや畑の後片付けなど、農作業の大変さや地域の特産について考える機会となる。



③ 3・4年生総合的な学習の時間

- ・夢花壇—地域に学校の創立60周年をアピールする。
- ・ご当地アイデア料理コンテスト—地域の特産品を見直し、全国にアピールする。
- ・地域のお年寄りとの継続した交流。（学習発表会の招待状届け、手作りクレープ、クリスマスカード、花鉢のプレゼント）
- ・ご当地アイデア料理コンテストへの応募は、東日本大震災への募金につながる。
- ・米粉クレープを地域のお年寄りに配って喜ばれた。

④ 5・6年総合的な学習の時間

- ・学校の歴史調べ—学校の歴史と変遷を見直すとともに、創立60周年を地域・保護者にアピールする。
- ・雪沢小ブランド米をつくろう。(米作り体験、収穫したお米のキャッチコピー作成)
今年度は、東日本大震災被災地の南相馬市学校給食センターに寄付することにした。
- ・職業調べ、夢をかなえる設計図の作成。



(3) 学校行事等

- ・地域と合同の総合運動会、農園作業、ヤマメの稚魚放流、親子レク、創立60周年記念式典、収穫感謝祭、交流集会



(4) 地域行事への参加

- ・鹿島流し（鹿島太鼓）、羽保屋山登山、敬老会



(5) クラブ活動

① 雪沢産直クラブの取組

- ・地域にある産直センターを見学する。→畑の野菜を使って自分たちで販売できる商品はないか。かぼちゃプリン作り（学校のみんなに試食してもらおう）→ほおずきジャム作り（先生方やお家の方を買ってもらおう）→学校田で収穫した米で米粉を作り雪沢産直センターで販売体験をした。

② 販売体験に向けたクラブ同士の連携

パソコンクラブ：ジャムや米粉、袋のデザイン、キャッチコピーや注意書きの作成
手芸クラブ：ミシンを使っての袋縫い、紐通し、アイロンがけ※クラブは、自分の興味・関心に基づき、得意なことに取り組む場。一人一人の児童にとって、自分の持ち味に気付かかし、さらに伸ばす機会となった。

(6) ようこそ先輩

畠山武光さんのお話（元イギリス大使館大使公邸総料理長）



3 まとめ

(1) 成果

- ・様々な体験を通して、子どもたちは、自分のやりたいこと、自分の得意なことを意識できるようになった。(自己理解の深まり)
- ・活動を通して、自分ができることを発見するとともに、だれかに喜んでもらえたり、人の役に立てたりするということに気付くことができた。(自己存在感の深まり)
- ・たくさんの体験を通して、みんなでアイデアを出し合って計画を立て、協力してそれを実行に移していく力がついた。(課題対応能力が育った)
- ・様々な人との交流や全校での異学年交流を通して、人間関係をスムーズにしていくためのコミュニケーション能力が、少しずつではあるが育ってきた。(対人関係能力が育った)

(2) 課題

- ・学年の発達段階に応じて、今の学習が自分の将来の夢につながっているという意識を高めるとともに、自分の得意なことや好きなことを希望する将来の職業と結びつけて考えていくキャリアプランニング能力を高めていく工夫を考えていきたい。
- ・地域の協力があってこそ、ふるさと・キャリア教育であるが、これを閉校後にどう受け継いでいくか。(長木小学校でも受け継いでもらえる活動はないか)